

施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	文化・スポーツ	課長名	古市善哉・沖田純一郎			
	施策	17 芸術文化・文化財保護の充実		重点施策の該当	R5	-	R6
施策の目的	対象	市民、文化財	意図	郷土に誇りと愛着を持ち、豊かな心を育むことができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標
郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.7	59.5	63.6	61.7 (72.0)	(72.0)	(72.0)
地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	23.3	19.3	25.9	40.5 (60.0)	(60.0)	(60.0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
63.6	27.0	65.3	28.1	61.6	23.7				
重要度DI	満足度DI								
57.9	17.6	59.5	17.0	54.4	12.4				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度目標	7年度目標
芸術・文化活動の推進		芸術文化に関するイベント数(回)	-	-	6	3 (5)	(6)	(7)
芸術・文化活動の推進		文化月間(11月)中のイベント参加者数(人)	506	1,805	1,392	810 (1,500)	(1,700)	(2,000)
文化財保護の充実・活用		(国・県・市)指定等文化財件数(件)	76	76	76	79 (78)	(81)	(82)
文化財保護の充実・活用		郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.7	59.5	63.6	61.7 (72.0)	(72.0)	(72.0)
文化財保護の充実・活用		郷土の文化の保存・保護が大切と思う人の割合(%)	89.0	87.2	90.3	87.4 (89.6)	(91.0)	(91.0)
伝統文化・民俗芸能の保存と活用	8-17 13-32	地域の伝統行事や文化事業を観覧した人の割合(%)	23.3	19.3	25.9	40.5 (60.0)	(60.0)	(60.0)
伝統文化・民俗芸能の保存と活用		郷土芸能公開団体数(件)	4	3	3	14 (14)	(14)	(14)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[社会教育課] 基本事業No.59	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動の中心母体である市文化協会は、文化協会員が主体となって運営しているが、少子高齢化等も相まって会員数が減少傾向にある。 4年ぶりに市民文化祭が開催されたが、熊毛地区広域文化祭は実施されなかった。
[社会教育課(文化財)] 基本事業No.60・61	<p>少子高齢化や世代交代により、文化財所有者から維持管理の相談が増加しており、有形文化財については鉄砲館への寄贈などの対応を図った。コロナ禍からの回復により、郷土芸能公開や民俗行事が再開されつつある。文化財の公開活用や市民へのPRのために、再編交付金を活用し個別の文化財の調査等を行った。</p>

施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[社会教育課] 基本事業No.59	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の中心母体である西之表市文化協会(加盟25団体、会員数307人)が主体となって、4年ぶりに市民文化祭が開催された。また、機関誌の発行も行われた。 ・自主文化事業や芸術文化事業は、4つのイベントを行い、多くの方々に足を運んでいたが、大変好評であった。 ・学習成果の発表の場として位置付けている市民フェアについては、終日開催をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1市3町の持回りで実施する熊毛地区広域文化祭の今後の在り方については引き続き、地区協議会の中で検討していく。 ・自主文化公演事業については、市民のニーズを考慮しながら予算の範囲内で招聘できるものを開催している。また、文化庁主催による巡回公演は、各学校のニーズをもとに事業を組み立てている。 ・令和6年度は、民間団体の1公演と2回の映画上映を計画している。
[社会教育課(文化財)] 基本事業No.60・61	<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん事業と連携し、未指定文化財の把握に努めた。地域計画作成に生かしていく。 ・個別の文化財の保護、市民へのPR、活用を図るため再編交付金を活用し、調査等を行った。 ・鉄砲館での展示や学習会、市広報誌、SNS等で郷土の文化財を紹介し、普及啓発を行った。 ・大学や専門機関と連携し、郷土の文化財の調査を進め、成果を公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成中の市文化財保存活用地域計画は、令和6年12月に文化庁認定を計画している。(課題:市史編さん事業の成果を取り入れた、地域計画最終素案の作成) ・個別の文化財の保存活用のための調査を、再編交付金を活用し実施した。引き続き調査を実施していく。(課題:事業内容の精査、専門家との連携、九州防衛局との協議) ・文化財の保護について、世代交代等に伴う文化財管理の相談件数が増加した。(課題:文化財管理状態の把握、寄贈資料として鉄砲館へ受け入れ体制の整備) ・郷土学習及び郷土の文化財のPRに努めた。(課題:学校や地域との連携) ・文化財保存公開施設である鉄砲館の改修を検討中である。(課題:鉄砲館収蔵庫の増設及び展示機器リニューアル計画の作成)
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[社会教育課] 基本事業No.59	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の鑑賞機会の提供については、民間団体の1公演と2回の映画上映を計画している。 ・自主文化公演事業については、市民グループ等に委託することで、より民意を反映した事業が展開されるのではないかとと思われる。引き続き研究していきたい。
拡大・充実	[社会教育課(文化財)] 基本事業No.60・61	<p>文化財保存活用地域計画を策定し、市内に遺る文化財を通して市民が郷土の歴史と文化に興味を持ち、ふるさとに対する愛着心や郷土の文化財を守り伝えていく環境づくりを進めていく。</p> <p>個別の文化財の調査改修整備を引き続き進め、文化財の保存活用の充実を図る。</p> <p>学校・地域・関係機関と連携し、文化財を生かした郷土に誇りを持つ心の醸成や地域づくりの促進、観光資源としての魅力向上を図る。</p>
②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中に記入)		
今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)	
拡大・充実	[教育振興部会]	施策担当課の記載する方向性のとおり。